

異業種からの就農！環境にやさしい農業を実践

アサンテファーム(当麻町)



【組織等の概要】

たかやなぎ りきや

- 代表者: 高柳 力也
- 就農年: 令和5年
- 品目: トマト、アスパラガス、ホワイトコーン等
- 経営面積: 2ha(全品目有機JAS認証を取得)
- URL: <https://asantefarm.com>

◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 青年海外協力隊、商社勤務を経て、プラント建設会社に入社。その頃から北海道の自然に惹かれ、移住フェアなどに参加する中で就農を考えるようになり、妻の実家に近く、有機農業者が多かった当麻町で令和5年に就農。
- ◆ 会社員時代に体調を崩したことをきっかけに腸内細菌に興味を持ち、薬を飲む代わりに腸活を取り入れるなど食事を改善し、体を鍛えることで体調が回復した。この経験から、腸内細菌が体に果たす役割と、以前から家庭菜園で研究していた土壌細菌が作物に果たす役割は似ていると考え、就農当時から化学肥料・化学農薬を使用しない有機農業に取り組み、就農3年目で全品目有機JAS認証を取得。
- ◆ トマトジュース・にんじんジュースを委託製造し、道の駅のほか、道外にも出荷している。



農作業の風景



有機栽培のホワイトコーン



タンザニア発祥のアート“ティンガティンガ”のアーティストがデザインしたジュースのパッケージ

【取組の成果】

- 就農を決意した会社員時代から、関東のスーパーや企業へ売り込み営業を行い、今でも取引が続いている。また、地域の先輩農業者から紹介してもらった取引先に出荷しているほか、有機野菜などを取り扱う卸業者や青果店、飲食店、東京の友人が経営している魚屋など幅広く販路を開拓。インターネット販売も行っており、ふるさと納税の返礼品にも提供している。
- インターネット販売では、有機という付加価値に魅力を感じている人が多く、リピート率が高い。

【今後の展望】

- 圃場を広げ、主にトマトの面積を増やしたい。
- マルチを張る作業と剥がす作業が重労働でもあるので、マルチの使用量を削減し、脱プラスチック・省プラスチックを推進したい。
- 現在委託製造しているトマトジュース・にんじんジュースの他、様々な商品を自ら加工できるように加工場を整備し、生産量を増やしていきたい。
- 現在は関東へのお荷が多いが、今後物流の問題が深刻化すると思われるので、北海道内でも販路を広げたい。
- 子ども食堂など地域の活動にもっと関わっていきたい。